

第3期地区別計画 取組内容の柱

1 阿久和北部地区



- ①見守り合いシステムの構築
- ②「見守り合い広場」を健康づくりの拠点に
- ③みんなで手を携え地区内の事業展開に更なる推進を

2 阿久和南部地区



- ♥地域交流でふるさとづくりの和
- ♥地域で見守る高齢者、障がい児・者とのあたたかい輪
- ♥地域で育む子ども・子育て世帯との笑

3 三ツ境地区



- ・たくさんの人が地域行事や活動に積極参加する環境作り
- ・お互いの顔が見える関係と柔らかで温かい連帯・絆を作る

4 瀬谷第一地区



1. 健康長寿をともに喜び合える地域にしてゆこう。
2. 地域から幅広い見守り活動と支援を推し進めよう。
3. 地域から友達づくり、仲間づくり、担い手づくりを上げよう。
4. 住民の要望を行政に働きかけて、活力の生まれる地域として行こう。

5 本郷地区



- 1.みんながつどい楽しむふれあいの地域づくり【ふれあい】
- 2.ともしつながり支え合う安心の地域づくり【安心】
- 3.すこやかに育つ力を育む希望の地域づくり【希望】
- 4.「健康長寿の里」を目指す自立の地域づくり【自立】

6 瀬谷北部地区



- 地域活動の担い手の充実
- 各種団体の取組の共有
- 要支援者への支援の強化

7 瀬谷第二地区



1. 健康づくり
2. 災害対策の向上
3. まちの安全を守る活動
4. 地域活動への参加拡充
5. 子ども・青少年の見守りと支援
6. 高齢者・障害者への見守りと支援
7. ボランティア活動の拡充

8 細谷戸地区



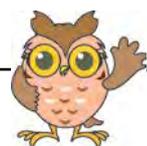
- 1.ピーハイブ活動の推進
- 2.地域内の子ども育成対策
- 3.災害時の対応
- 4.障害のある方の把握と援護

9 瀬谷第四地区



- | 【連携(つながり)の強化】 | 【地域活動の活性化】 |
|----------------|------------------|
| 1.子ども・親との連携支援 | 4.第四地区のきずな |
| 2.障害者・家族との連携支援 | 5.見守りサポーター活動推進強化 |
| 3.高齢者への支援 | 6.人材発掘・人材育成 |

10 南瀬谷地区



- ◆地域の支え合い・助け合い
- ◆顔のみえる関係づくり・交流
- ◆安心・安全なまちづくり

11 宮沢地区



1. 災害対策
2. 地域での健康づくり
3. 地域活動と見守り体制の充実
4. 誰にもやさしいまちづくり
5. 活動拠点の確保

12 相沢地区



- ① みんなで見守り支え合うまち
- ② すべての人が健康で長生きできるまち
- ③ みんなで助け合うまち

今年度から、第3期瀬谷区地域福祉保健計画がスタートしました。阿久和北部地区でも、地区別計画に基づいた活動が推進されています。そのなかで、3つの取組をご紹介します。

1 子ども食堂を始めました

『みんなの傘「見守り合いの家」の更なる運用』の一環として、地域で子ども達を見守り合うことを目的に、見守り合い広場（向原第二公園）で子ども食堂を始めました。

第1回は、6月19日（日）に開催しました。「大カレーパーティー」と銘うって、地区内の小学生及び園児を対象にチラシ配布を行い、当日を待ちます。初めてのイベントで、参加人数が見えなかったのですが、「子ども100人参加」の想定で準備を進めました。

集合時間の10時半になると、子ども達が続々と集まってきました。受付をお願いした原中学校



ボランティアも大忙しで、急遽受付場所を増やして対応しました。子ども達の間にはスタッフの大人が混ざりながら食べようと、席も多めに配置しましたが、とても間に合わず、椅子を追加することに。カレーライスも、おかわりを希望する子どものことも考えて多めに用意しましたが、全員に1杯ずつのお渡しで終了。予定の倍近い180人もの子どもが集まり、大盛況となりました。

第2回は、8月13日（土）に開催しました。お盆の時期だったので参加者は80人でしたが、その分、おかわりにも十分に対応できました。また、青少年指導員がアトラクションとしてジャンボシャボン玉を提供、大好評を得ました。

大勢で食べる食事は楽しいものですが、少し注意深く子ども達の様子を見ていると、気になる行動も見受けられます。スタッフの大人がさりげなくコミュニケーションをとりながら、今後の見守り合いにつなげます。

地域の子供達が遠慮なく参加できる雰囲気大切にしながら、今後も2か月に1回程度のペースで開催していきます。

【小学生の学習支援も取り組みます！】

見守り合いの家を会場として、小学生の学習支援も取組を始めました。

<宿題やろう！>を合言葉に、勉強を教えることより「勉強をする姿勢を養う」ことを目的として、子ども達の参加を呼び掛けます。

ボランティアグループ「おやじの広場」のメンバーが当面の支援を担いますが、今後、地域の支援者を募り、活動を広げていきます。



阿久和北部防災研修会を開催

『自治会ごとの見守り合いシステム構築への支援（防災の観点も踏まえたシステム構築）』に関連して、8月28日（日）に、阿久和北部防災研修会を開催しました。各自治会から、役員や防災担当者、拠点運営委員など約80名の参加がありました。

前半は、各自治会から取組の現状報告で、今年度は「安否確認および情報受伝達」をテーマに発表しました。10年以上前から仕組みを作り運用してきた自治会や、ここ数年で徐々に取組を進めてきた自治会などありますが、各自治会の実情に応じた進め方や課題などを共有しました。

後半は、自治会を3グループに分けて、意見交換を行いました。課題や悩みを出し合いながら、一方でうまくいっている事例も共有し、取組方法や日頃の見守り合いなどについて議論を深めました。

毎年の本研修会で、参加者が自分の自治会で生かせそうな手法を学び合うことにより、自治会ごとの見守り合いシステムが着実に進展しています。

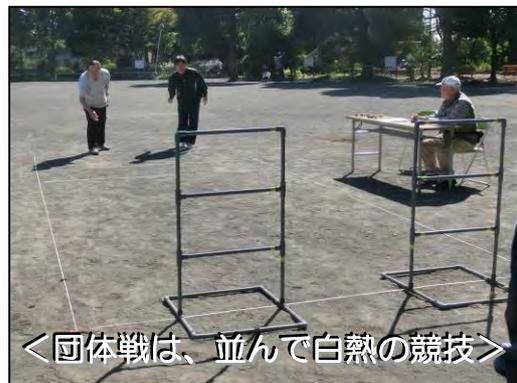


団体共同によるラダーゲッター交流会

『見守り合い広場』の健康づくり』及び『みんなで手を携え地区内の事業展開に更なる推進を』の取組として、シルバー部会とスポーツ推進委員が共同で、10月15日（土）に「ラダーゲッター交流会」を開催、小学生7名、一般17名の参加がありました。



＜ボール付の「ひも」を投げます＞



＜団体戦は、並んで白熱の競技＞

小学生は、低学年の部と高学年の部に分かれ、各自3投ずつ3回投げて合計得点を競う個人戦を行いました。一般の部では、個人戦に加えて、4人ずつ4組に分かれて各自3投ずつ3回投げてチームの合計得点を競う団体戦も行いました。

同点プレーオフで優勝者が決まるなど、白熱したゲームが展開され、参加者からは「初めて体験したが、非常に楽しかった。」「また機会があればやりたい。」などの感想が聞かれました。

シルバー部会とスポ推で共同開催した初めての事業で、シルバーが準備・企画・運営を、スポ推が審判・進行を分担し、道具も互いに手作りで準備を進めました。ラダーゲッターは、子どもからシルバー層まで楽しめるスポーツです。今後も共同で推進していきたいと考えています。

【ラダーゲッターとは】

小さなゴムボールが両端に付いている「ひも」を、ラダー（ハシゴ）に向かって投げ、引っ掛かれば点数が入るという競技。年齢や体力に関係なく誰でも楽しめるスポーツです。

◆阿久和南部地区の様々な取り組み◆

阿久和南部地域福祉交流拠点
ぽかぽかプラザ学習支援



阿久和小・地域・障害者施設合同防災訓練



障害児者・支援者ネットワーク会議



南部まつり



小・中学生放課後支援
笑！和！輪！クラブ



社会を明るくする運動



南部連合運動会



敬老会
連合・地区社協共催



～阿久和南部地区の発展に寄与していきます～

三ツ境地区社協 かわら版

発行者：三ツ境地区社会福祉協議会

発行責任者：会長 笠井 哲雄



三ツ境地区

みんなで幸せに長生きをする 5か年計画がスタート！

さる2月27日(土)、瀬谷公会堂で瀬谷区地域福祉保健計画推進シンポジウムが開催され、瀬谷区12地区それぞれの福祉保健計画が発表されました。



全国的な少子高齢化が加速するなか、瀬谷区も高齢化が進むとともに5年連続で人口も減少しています。そのような社会環境のもと、いま地域に求められているもの、一番大切にしなければならないものは何か？それは“お互いが寄り添い、支え合いながら元気に暮らしていける社会を作っていくこと”ではないでしょうか。

三ツ境地区では“みんなで幸せに長生きをする”ことを究極の目標として、活動を推進することを決定しました。サブタイトルは「**集い 寄り添い 住みよい三ツ境 まちづくり**」。お互いの顔が見える関係と、柔らかく温かい連帯・絆を作ることがポイントとなります。そのためには「一人でも多くの人々が地域行事や活動に積極参加する環境づくり」が外せません。各自治会や諸団体が主催する行事の魅力度アップに工夫を凝らし、場合によっては複数の力を結集して共催スタイルをとることも考えられます。

そこで三ツ境地区第3期福祉保健計画の初年度においては、従来からの継続施策に加えて、以下の2点を中心に推進してまいります。

- ① 諸団体が主催・運営するイベントの魅力度アップを目指して、まずはそれぞれの関係者同士が理解を深めるため、情報交換や意見交換会を開催します。
- ② 少子高齢化・人口減少の環境下でも“みんなで幸せに長生きができる”よう、各自治会とも必要に応じ役員幹事の役割や仕組みの見直し、規約の見直しを図っていきます。

地域を構成するのは市民ひとり一人、区民の皆さんです。以上のような活動に注目しながら、地域活動に一歩踏み込んで積極的に係わっていただきますようお願いいたします。

「三ツ境地区サポーターズ」

あなたの力は
みんなの力



を始めます

身近な地域の活動にあなたの力を少しだけ貸してください！

三ツ境地区住みよいまちづくり推進委員会では「みんなで幸せに長生きをする」をモットーに、一人でも多くの方が地域行事や活動に積極的に参加できる環境づくりを考えています。

そこで具体的な取り組みとして「三ツ境地区サポーターズ」を立ち上げます。

三ツ境地区にお住まいの方ならだれでも参加でき、空いた時間を少しだけ地域に活かしてもらうため、今後は連合自治会の協力を得て、アンケートの実施を検討します。



見守り・支えあいカードの更新

見守り体制の確立・仕組みづくりとして、平成 26 年度より、日頃から見守りが必要な方、災害時に支援が必要な方に対して、地域で助け合いが行えるよう、「見守り・支えあいカード」を各自治会が配布・回収し、保管・管理をしています。

今年度末で 3 年が経過するため、「見守り・支えあいカード」の内容に変更があるかなど、確認・更新をする時期になりました。各自治会で「見守り・支えあいカード」の更新の取りまとめをお願いする予定です。



自治会提出		記入日： 年 月 日
見守り・支えあいカード		自治会 番号
住所 瀬谷区三ツ境 番地		番 号
電話番号		
代表者	家族の名前等	保護 必要な見守り・保護の内容、専体の状況など
1 のりな 大正・昭和・平成 年生まれ	男・ 妻 女・ 子	
2 のりな 大正・昭和・平成 年生まれ	男・ 妻 女・ 子	
3 のりな 大正・昭和・平成 年生まれ	男・ 妻 女・ 子	
4 のりな 大正・昭和・平成 年生まれ	男・ 妻 女・ 子	
5 のりな 大正・昭和・平成 年生まれ	男・ 妻 女・ 子	
6 のりな 大正・昭和・平成 年生まれ	男・ 妻 女・ 子	
※ 家族の方の異常発生時の連絡先		
1 のりな	お名前	代表者との関係 電話番号
2 のりな	お名前	代表者との関係 電話番号
【 保護する際、任意してもらったことや専体の状況などお書きください 】		
※ 災害時にお手伝いや資機材を提供できる方は下記に記入してください。		
名 前	取得している資格	提供できる資機材など
作成：三ツ境地区住みよいまちづくり推進委員会		

関連諸団体相互 の情報交換会

三ツ境地区第3期福祉保健計画の一つに、三ツ境地区で活動する関連諸団体の相互理解促進とそれを基にした共催強化を掲げています。諸団体が主催・運営するイベントなどの魅力度アップを目指すため、11月23日には2回目となる情報交換会を開催します。関係諸団体から活動の詳細紹介と発表などを予定しています。

WAT運動のすそ野を広げる活動

一人暮らしの高齢者の皆さまへ

無料です

安心キットを配付致します

今、希望者を募集中！



安心キットとは？

瀬谷第一地区社会福祉協議会
瀬谷第一地区連合町内会

皆さん。普段の生活をしていて、気がかりなことは何ですか。

突然の病気になったり、倒れたりしたら、どうしようという心配はありませんか？

そういう時の、転ばぬ先の杖がこの『安心キット』です。普段は自分の掛かりつけのお医者さんとか緊急連絡先などの情報を記入し、この安心キットに入れて冷蔵庫にしまって置くだけです。そしてもしもの時に駆けつけた救急職員が、この安心キットを見たうえで、的確で機敏な対応をとることが出来ます。

この安心キットが、一人暮らしの皆さんの不安を少しでも取り除くことに役立つならば、と考えました。



安心キットを入手するには？

裏面に記載のある人の所へご連絡ください（どなたでも構いません）。

少しお時間を頂きますが、地域のメンバーがお届けに上がります（無料です）。

普段はあまり関わりを持たなくても、弱った時やいざという時に助け合えるのが、“遠くの親類より、近くの他人”である地域の力です。

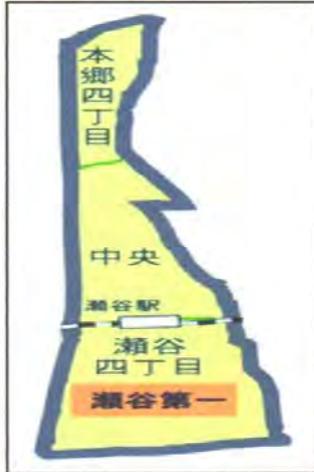
※右のものが安心キット見本です。
この筒の中に必要事項を記入した用紙を入れ、
冷蔵庫に保管します。



住民の皆さんに地元クイズを出題！

よい良い地域づくりの第3期スタートに

瀬谷第一地区を知ってもらうクイズ



左の地図をご覧ください。
大づかみですが、私たちが住んでいる瀬谷第一地区を表す地図です。
瀬谷駅をおへそくらいの位置にして、南北に細長く広がる地域と
言ってもいいかも知れませんね。この地域について、皆さんに
より知っていただきたく以下のクイズを出題します。

瀬谷第一地区連合町内会
瀬谷第一地区社会福祉協議会

クイズ1問 瀬谷第一地区は地域的にどの範囲か、ご存知ですか？
地区の西側の境界は環状四号線(海軍道路)となっておりま
すが、南側は 街道が境界となっています。
(空欄を埋めてください)

クイズ2問 瀬谷区には瀬谷第一地区のような地区がいくつあるかご存知ですか？

今度は右図をご覧ください。これは、瀬谷区全体のシルエット
図ですが、この瀬谷区がいくつの地区に分かれているのか
考えてお答えください。少し難しいので、選択問題です。

①8地区 ②10地区 ③12地区、のうち正解は です。

クイズ3問 瀬谷第一地区には自治会町内会がいくつあるかご存知ですか

この問題のヒントは上の図にあります。こちらも選択問題です。

①3町内会 ②5町内会 ③7町内会、のうち正解は です。

クイズ4問 では、瀬谷第一地区にはどれくらいの方が住んでいるかご存知ですか？

これも少し難しい問題なので、選択問題です。

①約4000人 ②約6000人 ③約8000人、のうち正解は です。

クイズ5問 以下の空欄に正しい数字および適当な言葉を入れてください。

○瀬谷第一地区の約 名に1人は高齢者(65歳以上)です (1ケタの偶数です)。

○瀬谷第一地区は瀬谷区の中で一番 が小さい地区です。

難問なので、次の中から正解を選んでください。①肝っ玉 ②面積 ③家屋

○瀬谷第一地区は瀬谷区の中で一番 が高い地区です。

これも難問なので、次の中から正解を選んでください。①標高 ②気位 ③人口密度

クイズ6問 瀬谷第一地区の中で日常一番人が集まる所はどこか、ご存知ですか？

みんなが毎日利用している所をイメージして下さい(瀬谷駅は除いて考えます)。

毎日8000人を越える人が利用しているといわれるその場所は、 です。

クイズ7問 瀬谷第一地区の地震災害があった時の避難所はどこか、ご存知ですか？

皆さん、これはよくご存知ですね。その施設名は です。

地震災害にあつて家が倒壊したり、焼失した時にはこちらに避難してください。

クイズの空欄を埋めて、アンケートとともに返却していただいた方の中で、
全問正解の人には抽選で10名に賞品を贈呈します(みかん5kg詰合せ)。
裏側の氏名と住所欄・アンケートの回答を記入し、振るってご応募ください。

本郷のかから版

本郷地区連合自治会の今 ～各単位自治会の活動紹介～

本郷第一自治会 《2016 夏！子ども部の活動から》

私たちは、鎌倉古道にある瀬谷神明社を舞台に活動しています。今夏、新イベントとして実施した「流しそうめん」と2年目になる「子ども太鼓」を紹介します。

流しそうめんは、簡単で子どもたちも楽しめるイベントとして4月に発案されました。しかし、思った以上に課題が多く苦労しましたが、役員、理事、ボランティアの知恵と技で乗り切り、当日は、100名以上が集まり子どもも大人も流しそうめんを楽しみました。

流しそうめん幼児コーナー



子ども太鼓大ステージ

子ども太鼓は子ども部経験者が先生となり6月から練習を開始しました。盆踊り大会では地域有志による手作りの大ステージが用意され、10名の小学生の力強太鼓の音で盛り上げてくれました。今年は日枝社祭礼の大舞台でも演奏する機会が得られ、アンコールと拍手の中、初々しい笑顔と太鼓の音で華を添えてくれました。

本郷第二自治会 《2016 年上期を大勝利出来ました》

平成28年度現在、会員数は約450世帯で、事業としては納涼祭、敬老の集い、神輿渡御・祭礼、防災訓練と防犯活動を行っています。又公園愛護会と連携し毎月1回公園の美化活動を行っています。すべてボランティアです。

＊毎月第一土曜日に本郷サロンを実施しています。子供から大人まで楽しく運動・催しゲーム等で活動しています。 場所：本郷第二自治会館

＊7月 納涼祭を実施しました。200名以上の参加者がありました。

＊9月 敬老の集い、短い時間では有りましたが楽しく過ごしました。日枝社の

祭礼・神輿渡御が有りました。子供・大人神輿・山車には多くの子供たちが参加してくれました。

これからも会員が力を合わせて楽しく、優しく、災害に負けない自治会を目指していきたいです。



本郷第三自治会 《納涼盆踊り》

活動の一つである『ふれあいと対話で地域づくり』を目指して7月30日（土）に納涼盆踊りを開催しました。

この日は、天候に恵まれ早朝から多くの役員及び居住者の皆さん

と一体となり盛大に開催しました。準備を進めるにあたっては、普段顔を合わせない方と語り合いながら楽しく準備しました。又、多くの模擬店が趣向を凝らし子供達には好評で楽しい一夜であったと思われました。そして踊りは暑い夜を吹き飛ばす太鼓の音と一体となり踊りの輪が広がりました。

暑い夜・ 踊って・ 飲んで語り合いました！



本郷第五自治会 《夏祭り盆踊り大会》

夏本番の季節となり、本郷第五自治会主催の『夏祭り盆踊り大会』を大門小学校校庭で、8月6日に行ないました。『太鼓』と『踊り』は夏祭りの華であり、夏祭りにはなくてはならないものです。太鼓は有志の方が、きりりとした法被姿で打ち手となり、特に子供さんのバチさばきは素晴らしいものでした。踊りは元婦人会のメンバーが艶やかな浴衣姿で、先導役を努めました。

この太鼓と踊りでの盛り上がりのなかで、参加の皆様は『飲んで』『食べて』『踊って』

『語り合って』親睦を図り、大いに楽しみました。

子供さん達にも楽しめるように、子供会と連携してイベントも企画し、今年は『輪投げ』『缶釣り』『お菓子つかみ』『ボーリング』等のゲームで楽しみ、賞品もありました。また、踊りの輪に入って、2回以上踊ると『光る腕輪』が貰えるプレゼントも用意されました。



本郷第六自治会 《納涼盆踊り大会と清掃》

2016年7月30日、瀬谷中学校にて納涼盆踊り大会が行われました。

昨年に続き今年も天候に恵まれ、青年部、婦人会、各種団体の方々の御協力もいただき、盆踊りを通して、会員相互の親睦を深める良い機会となりました。



← 公園清掃の様子

本自治会では月1回本郷三丁目公園の清掃を行っております。

明るく、防犯上も安心して暮らせる街づくりに寄与すべく、継続的に取り組んでいます。

盆踊り大会の様子 →



本郷第七自治会 《納涼祭》



今年では会長、副会長、班長役員全員が新人で実行しました。ケーズ電気よりうちわを頂きました。この時の室内温度は34℃でした。

4班の笹木忠男さんは納涼祭にあわせてダンボールの神輿を作りました。



10班の鈴木さん芸名「相模亭せや朝さん」に漫談をしていただきました。奥さんは今度民生委員になる予定です。



カラオケは遠隔操作で行いました。暑い中30曲以上歌いました。

ヒルズ本郷原自治会 《バーベキュー大会と清掃》

発起人の呼びかけで、夏のバーベキュー大会を開催しました。

皆さんがバーベキューの達人になりました(*^。^*)

このイベントで喜んでいるのは、やはり子供達ではと思います。



ヒルズ本郷自治会行事としては、春、夏、秋の団地内清掃活動を実施して美化運動に貢献しており綺麗な環境です。



コスモ瀬谷パークサイドステージ自治会 《花火大会と防災訓練》



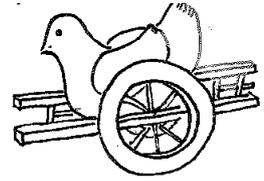
当自治会は平成17年に誕生し、本郷地区連合自治会に加入して12年目を迎えました。主な自治会活動として、毎年夏に子供たちが主役のこすも花火まつり、年一回の防災訓練、本郷地区レクリエーション大会への参加や、子供会活動といたしましてマンション内での各種イベント開催、親和会活動として毎月コスモサロンの開催などの行事を行っています。

本年の花火まつりでは過去最多の参加人数となり準備等初めての事ばかりで大変でしたが大盛況で開催出来た事は自治会会員皆さまの協力があつての事だと思います。10月のレクリエーション大会も好成績目指して一丸となって取り組みます。



りょうりん

～第3期地域福祉保健計画瀬谷北部地区計画の取組状況について～



瀬谷北部地区かわら版

発行：瀬谷北部地区別計画策定推進委員会

作成：瀬谷北部地区社会福祉協議会

◎地域の見守り 防災事業

瀬谷北部地区では、境川に沿って南北に細長い地域であります。避難場所も上瀬谷小学校となっており高齢者の方、体の不自由な方にとっては遠い場所でもあります。従って安心して暮らせる明るい地域を作るためにも、防災グッズを配布し同時に顔見知りになり、日頃の見守りを行っています。今年度はドロップの交換をしました。180世帯に配布。年1回中身の交換をしています。



◎第22回福祉大会を開催しました

平成28年5月22日

中屋敷地区センター体育室にて

今年で22回を迎えることになりました。今回の大会も地域の皆様方のご厚意で舞踊、カラオケギター弾き語り等趣向をこらした演目で、日頃のせいかを披露して頂きました。対象者は77才以上の方を招待して楽しいひとときを過ごし、喜んでお帰りになりました。



◎ 配食サービス かしわ会

独居の方、虚弱高齢者世帯及び調理の困難な方々を対象に週一度季節感ある食材を購入し手作り弁当をお届けすると同時に安否確認も行っています。

配食エリア 瀬谷北部 本郷 細谷戸
曜日 毎週水曜日(月4回)
費用 一食 400円



9月の敬老弁当作り風景
そば寿司 いなり寿司

◎ 地域の鎮守の神様の今日はめでたいお祭りだ

毎年9月に若宮八幡神社の例大祭が盛大に行われ瀬谷区の各神社(9社)の代表の方がお祝いに来られました。地区社会福祉協議会でおもてなしの料理と接待のお手伝いをし、氏子の無病息災と実り多い年となりますように祈願致しました。



◎ ふれあい食事会

9月25日に中屋敷地区センター体育室で行いました、地区社協むつみ会の方の手作り弁当130食を作り参加者とお手伝いの方達と地域交流をしながら昼食をして、食後はビンゴゲーム等で楽しい一時を過ごすことが出来ました。各町内会の役員の方に会場準備、送迎のお手伝いをして頂きました町内連合会と地区社会福祉協議会は車の両輪であり、お互いに協力し合い活動しています。



瀬谷第二地区

<瀬谷第二地区 みんなの幸せプラン>

目指すまちの姿

誰もが健康で安全に安心して、心豊かに暮らせるまち

第2期地域福祉保健計画の6つのテーマに、「1.健康づくり」を加え、7つのテーマで推進します。従来の6つのテーマは、継続発展を目指して推進しています。

1.健康づくり

目指す姿：皆さんが健康で、
長寿を迎えられるまち

- 健康食事の推進
- ラジオ体操の普及、体操実施グループの育成・支援
- ラジオ体操のマップ作成
- ウォーキングの推進
- 禁煙運動の実施



広報誌「ゆずり葉」

2.災害対策の向上

目指す姿：防災意識が共有できているまち

- 顔の見える関係作りから作りから、災害時の助け合いへ
- 「高齢者と障害者の防災と福祉の実行委員会」の支援継続
- 防災グッズ、防災ガイド、ふれあいカード
- 防災訓練、水防訓練、防災拠点の活動



防災グッズ

3.まちの安全を守る活動

目指す姿：誰もが安心して散歩できるまち

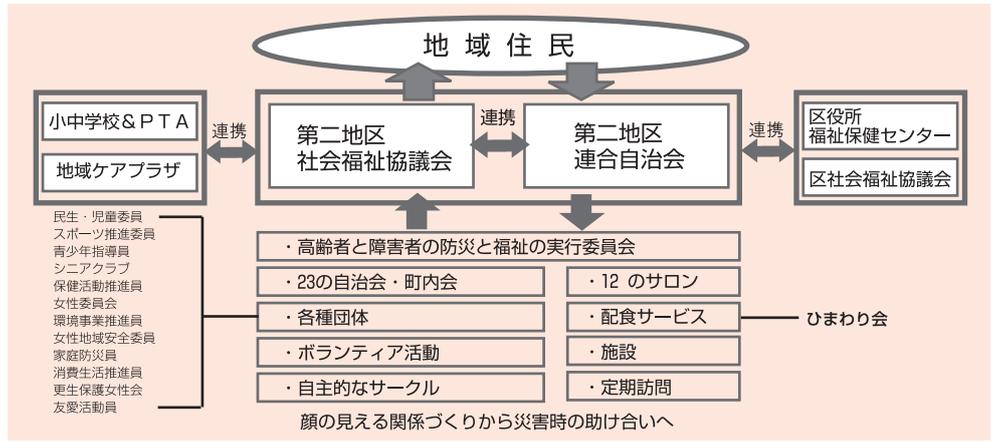
- 安心散歩みち推進事業
- 防犯・防災の視点で危険箇所をチェック
- 防犯パトロールの実施



安心散歩の日

第3期地域福祉保健計画の推進体制

- 推進体制は右の構成図の通りで、地区社協と連合自治会を母体として推進している。
- 期間：5年間
(平成28年度～32年度)
- 計画の対象：瀬谷第二地区すべての人
- みんなで作成した計画、みんなで行き届くこと



4. 地域活動への参加拡充

目指す姿：皆さんが自治会町内会会員として共に活動に参加するまち

- 自治会未加入者への自治会・町内会の加入促進
- 各世代が集まれる場や機会作り：サロン、ラジオ体操、ゲートボール等
- 「人と地球にやさしくをみんなで考える集い」の開催
- 「交流の場」の情報提供拡大



交流の場のチラシ

5. 子ども・青少年の見守り・と支援

目指す姿：子どもたちが夢と希望を持ち健やかに育つまち

- 子育て交流会：民生・児童委員会にて年6回開催
- いきいき瀬谷っ子：夏・秋年2回開催。
- 学援隊：登下校の見守り
- ふるさと祭り：瀬谷っ子ソーラン、模擬店 他



ふるさと祭り



いきいき瀬谷っ子



子育て交流会



サロンの活動

6. 高齢者・障害者への見守りと支援

目指す姿：高齢者・障害者が安心して暮らせるまち

- 福祉大会「ゆずり葉の集い」の開催
- 地域サロン主催者交流会の開催
- 配食サービス<ひまわり会>
- 人と地球にやさしく／障害者への理解を深める研修 他



ゆずり葉の集い

77歳以上のご長寿者をご招待し、秋の一日を楽しんでいただく

7. ボランティア活動の拡充

目指す姿：地区内でボランティア活動が活発に行われているまち

- ボランティア活動の推進体制の検討、立ち上げ
- ボランティア活動の拠点の検討
- 区社協、地域ケアプラザとの連携
- 配食サービス 他

週1回の昼食をお届け



配食サービス

細谷戸地区 かから版

細谷戸地区社会福祉協議会

◆ 第1・2期で取り組んだ主な活動や事業

- ビーハイブ活動（※）を進める実施委員会を設立
 - ・自治会単位での高齢者見守り活動
 - ・安心キットの配付、見守りパトロール
 - ・親子交流会
- 高齢者を対象とした、はつらつクラブ（転倒予防体操）《毎週火曜日》やラジオ体操《毎週土曜日》
- お助けパートナー（高齢者世帯への軽作業の手伝い）
- 高齢者定期訪問（地区社協、地区民児協による）
- サロン細谷戸《月1回》
- 子育てお母さんのつどい《月1回》
- その他 研修見学会



地域と子どもの交流会



◆ 第3期計画に向けての課題

- 1 高齢者の安否確認や見守り方法の見直しについて
- 2 地域で子どもを育むために、どのような事業が必要か
- 3 各事業を推進に向け次期役員（ボランティア含む）の育成
- 4 福祉保健計画をよりよく知ってもらうための広報活動

◆ 命の笛（ストームホイッスル）の配付



私達がビーハイブ活動で最も必要と考えていた、「何か起きた時、誰かに知らせる」この大切なことが、この「命の笛」を配付することで目的の一部が達成されます。軽く吹くだけで大きな音が出る、病気で倒れた時だけではなく、災害の際にも役に立ちます。

※「ビーハイブ活動」とは？

孤独死や孤立を防ぐことを目的にした、ビーハイブ（蜂の巣）の様にきめ細かい高齢者の見守り体制づくり。

ビーハイブ実施委員会は、細谷戸連合町内会、細谷戸地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、各種団体の代表者で構成されています。

第3期計画

心が通じる地域づくり・地域は家族

【取組姿勢】

第1期、第2期計画での取組みをさらに進めます。また、次の項目を重点的に行います。

【取組内容】

1 ビーハイブ活動の推進

- ・ これまでの活動をより推進して、安心キットの必要性を幅広く伝えるとともに配布を拡充する
- ・ 既に配布している安心キットの中身の点検を行う
- ・ 地域のパトロール活動を持続可能な範囲で実施する

2 地域内の子ども育成対策

- ・ 子どもが安心して過ごせる環境づくりに注力し、「子どもと大人」との交流の場を増やす
- ・ 地域と学校の連携を深める
- ・ 子どもを対象とした催しものを検討する

3 災害時の対応

- ・ 障害のある方への支援方法について、連合町内会やその他の組織の在り方や連携の仕方を考える
- ・ 一般的な震災や火災等については、ビーハイブ実施委員会と連合町内会、自治会が協力しあう

4 障害のある方の把握と援護

- ・ プライバシー等に注意し、できる範囲で障害のある方を把握する
- ・ 特に安心キットは可能な限りの設置を呼びかける
- ・ 相談ごと、困りごと等の話を聞き、関係機関等と連携する
- ・ 今後、地域として何ができるか検討する

細谷戸駐在所

愛成苑

せや福祉ホーム



連携

細谷戸保育園

地区支援チーム

(区役所、中屋敷ケアプラザ、区社協)

相沢小学校

東野中学校

瀬谷第四地区 かわら版



第四地区マスコット
よんたくん

瀬谷第四地区の第3期地域福祉保健計画は、瀬谷区全域計画の方針に沿って策定しました。
3つの基本目標に沿った瀬谷第四地区の取組について紹介します。

基本目標1 隣近所で見守り・支え合う地域づくり

【地域活動の活性化】のテーマの一つである「見守りサポーター活動推進強化」について、「地域全体で支え合い、助け合いの出来る見守り体制が確立されている」ことを5年後の目標値(あるべき姿)としました。そのためには、地域の気づきから見守りや支援のできる仕組みづくりが大切です。地域の特色に合わせて単位自治会が活動しています。今回は楽老峰自治会活動を紹介します。

◆楽老峰見守り隊活動

楽老峰自治会は高齢化率32%で一人暮らし、老老介護、認知症を抱える世帯が多くなってきました。支え合い、助け合いのできる地域活動が急務となり、自治会の活動として計画しました。日頃から要援護者との親交を深めて、非常時、災害発生時に迅速な安否確認や安全確保、避難場所への誘導支援を目的に「楽老峰見守り隊」を結成しました。平成26年8月に隊員募集をおこない当初16名からスタートした隊員数も現在では30名に増え、地域内のパトロールや見守り活動を行っております。

要援護者には必ず2~3名以上の担当者が決められており、日頃から「気かけ」「声かけ」「話し相手」を心がけ、家の周りの変化にも気配りをしながら、災害時支援グッズの配布や詐欺や悪徳業者に対する注意喚起を促す「見守り新鮮情報パンフレット」等を手渡して配布して、顔の見える見守り活動に努めています。

パトロールや巡回訪問を通じて皆さんから気軽に声をかけたり、かけられるようになり地域住民とのコミュニケーションの場も広がっております。



見守り隊の
町内パトロール
活動



隊員による
見守り
巡回訪問

◆楽々金曜会

高齢世帯の増加に伴い引きこもり高齢者も増加傾向にあり、健康で元気に、楽しい人生を送ってほしいとサロンを立ち上げました。平成26年10月から年間10回、毎月第三金曜日に開催することから「楽々金曜会」としてスタートいたしました。

開催される催し物は、歌、健康体操はもとよりゲームや料理、紙芝居、防災、ごみ問題まで多岐にわたり、生活に役立つメニューも数多く用意され、大変好評を得ています。又、美味しいコーヒーやお茶とお菓子をいただきながらのおしゃべり、誕生日月を迎えた方々の紹介とお祝いのプレゼントも楽しみのひとつとなっています。参加人員も毎回40人~50人と多く、皆さん毎回楽しみにされており、他地区の友達にも声を掛けられ、誘い合わせて参加されている方もおられます。



座って
できる
太極拳講座



楽々
金曜会
歓談の様子

基本目標Ⅱ 健康・長寿をめざす地域づくり

【連携（つながり）の強化】のテーマの一つである「高齢者への支援」について、「高齢者が健康で元気に地域活動に参加し楽しい人生を送っている」ことを5年後の目標値（あるべき姿）とし、さまざまな活動を取り入れて進めています。高齢化社会に向かって認知症の方が増えることも予想されます。「見守りサポーター」の支援者のスキルアップ研修会、各種サロンでの脳トレ運動、日常生活の不安を解消する支援体制の確立を進め、安心して生活できる環境を整備していきます。健康づくりのために、高齢者が元気に朝のラジオ体操を楽しんでいます。



【楽老ハイツ集会所前】



【ニツ橋神明社】



【瀬谷第四公園】



【東野第一公園】



【ニツ橋南公園】



【ニツ橋北部自治会館前】

基本目標Ⅲ 誰もが活動に参加する地域づくり

【地域活動の活性化】のテーマの一つである「人材発掘・人材育成」を、「地域活動でさまざまな世代と協働で実施されている」ことを5年後の目標値（あるべき姿）とし、活動を進めています。しかし、参加する人は同じ顔ぶれ、新しい担い手が参加してこない等課題がありました。そこでアンケート調査をして、地域活動に参加していない次世代の方を呼び込んで、活動計画を立てました。「地域活動フォーラム」を開催し、どのようなことができるか活発な話し合いを進めてきました。今回はこの方たちが中心となってテーマ「子ども・親との連携支援」の事業の一つとして、「よんたくん広場」を立ち上げて活動することになりました。

小学生のみんな
集まれ！

よんたくん広場

はじまるよ！

お申込みは
先着 50 名様です。



あいさつ♡いっぱい♡みなみせや ～南瀬谷地区の合言葉～

南瀬谷地区では地福計画の内容をわかりやすく
広報誌「みなみせや情報通信」で伝えています。



第3期計画スタート!!

テーマは【みんなで育てよう暮らしやすいまちみなみせや】



- 第1期では、具体的な活動が生まれました。
● サロン・プレイパーク・高齢者相談所あって～南瀬谷
- 第2期では、総合的な活動に取り組みました。
● 地域サポート・コミュニケーション
- そして第3期では・・・
- これまでの取組をさらに進めていきます。
- 地域全体に広げるために、地域のみなさんへの広報活動を進めます。
- 新たな分野にも取り組んでいきます。

手始めにプロジェクターやプリント等を活用して、地域のみなさんへの広報活動を行っています。



● 地域のみなさんへの積極的な広報活動を始めました



自治会長向け説明会



地区社協理事会向け説明会



地域のつどいでは
広く住民のみなさんへ



定期的に誌面で
近況報告

説明会後のアンケートでは様々な声をいただきました。前向きな声が多いことが心強かったです。

- ・ 推進協の取り組み・活動内容などが理解できた。(複数回答あり)
- ・ 今後積極的に参加したい。 ・ あいさつ運動を推進していきたい。
- ・ 「一人が100歩進むより、100人が一歩でも進める方が」との言葉がとても響いた。町内(班内)・地域で顔のみえる関係づくりが大切だと思えた。
- ・ 参加の仕方が分からない。 ・ 多くの方が参加できる機会があった方が良い。

🌱 これまでの活動を広げるために

みなみせやサポーターズって!?



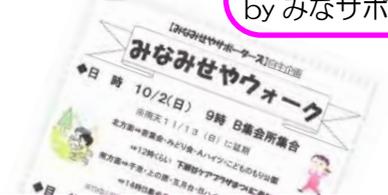
活動ベストが
できた!

みなみせやサポーターズは地域に暮らす人が少しずつ力を合わせてよりよいまちをつくるための仕組みです。より多くの人たちが活動に参加することで、全体の負担軽減を図るとともに、今までできなかった活動にも取り組むことが可能になります。

たとえば・・・地域の「バザー」や「祭」へのボランティア(ちょいボラ)参加とか、いざという時に資格や特技を生かす協力があります。よりよいまちにするための提案や、自分たちで新しい活動に取り組むこともできます。



ちょっと派手ですがこのベストを着るとやる気スイッチが入る【魔法のベスト】です!
by みなサポY



みなみせやサポーターズ自主企画

現在登録者 33 名の**みなサポ**メンバーから出た声をもとに初めての自主企画**みなみせやウォーク**を行いました。「いつも生活しているまちでも知らないことがたくさんありました。」



現在と昔の地図を見比べながらコース決め
「えっ南台デパート!？」



すずかぜ舗装ってなに?!



踏切のある家 《南台一丁目》

広がるあいさつ運動

近隣の学校のみなさんにポスター募集、それを使ってティッシュを作り配布。

大きい幟は行事に! 小さい幟は会議中のテーブルやお店屋に!

誰もが目にする回覧板や掲示板にも標語を貼りました

相鉄バス
あいさつ運動
展開中



～南瀬谷地区の合言葉～ あいさつ♡いっぱい♡みなみせや



新たな分野の取り組みは今後の課題です!



第3期福祉保健計画の取り組み
「水と緑のまちづくり」のさらなる前進を目指しています。

① 災害対策



防災訓練

② 健康づくり



指圧のツボ教室



ひまわり給食



③ 地域サロンの充実

ほっとサロンゆうあい



サロンふらっと宮沢



ゆうぎりサロン



歌声ラウンジ宮沢



いきいきシニア宮茶話会



子育てサロンえむ



④ 見守り体制づくり

防災グッズ
安心くんの配布



配食による安否確認



緊急通報装置の設置



Kさん宅

Sさん宅

相沢地区かわら版

平成28年10月 相沢地区社会福祉協議会

～「地域で生活するすべての人が 安心して生活できるまちづくり」

をさらにすすめます～

相沢地区の第3期計画（平成28年度～32年度）は、第2期計画の活動や事業に加え、これらをさらに拡充する活動や事業を展開しています。

<相沢地区で継続して取り組まれている活動・事業>

配食サービス「火曜の会」（一人暮らしの高齢者の支援）



毎月第1～第4火曜日に配食
平成27年度の配食数：1,601食

相沢ふれあいサロンⅠ（世代を超えた交流の場）



毎月第3木曜日
相沢原団地集会所にて開催
平成27年度の参加者：
328名

相沢ふれあい食事会

（一人暮らしの高齢者への支援）



食事会委員と友愛活動員の協力により、第一～第四町内会と第五～第八町内会それぞれ年各3回瀬谷地区センターで開催
平成27年度の参加者：377名

相沢ふれあいサロンⅡ（世代を超えた交流の場）



毎週第4金曜日
相沢公会堂にて開催
平成27年度の参加者：
315名

わいわいおやこ会（子育て支援）



民児協主催により、毎月第4木曜日（8・1月を除く）相沢公会堂において開催
平成27年度利用者：
564名（263組）



ふれあい体操の会（高齢者介護予防のため）

毎月第1、第3水曜日に相沢公会堂で16名のグループにより「体操の会」を開催

—隣近所のさりげない見守りによる地域づくり—

- ・「隣近所のさりげない見守りによる地域づくり」推進委員会(委員9名)を平成25年5月に設置し、26年3月「隣近所のさりげない見守りによる地域づくり」計画書をまとめました。4月より、相沢町内連合会、各町内会のご協力により、この地域づくり計画を連携して推進しています。全世帯配布、班単位回覧、掲示板による広報に取り組んでいます。
- ・今年3月には、こんにちはチームと合同で「顔の見える関係づくりから災害時の助け合いへ」と題して研修会を開催しました。

講師：瀬谷区総務課 日比野政芳 課長

「さりげない見守り」と「あいさつ」を!

相沢地区では日頃の挨拶やさりげない見守りから、安心して生活できるまちづくりをすすめています。これは事故や災害時の支えあいにもつながります。隣近所から町内、地域への輪をつなぎ、よりよいまちづくりをすすめましょう。

「あいさつ」を積極的に!

まずはご近所さんや町内の方に積極的に挨拶しましょう。
「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」など、日頃から気軽に挨拶しましょう。

「声かけ・見守り」はさりげなく!

隣近所の方には日頃から声かけを心がけ、何か異変に気づいたら、声かけやご連絡をお願いします。
声かけや見守りは、見張りではありません。お互いにさりげなく気かけ、何かあったと感じたら、声をかけたり、町内会役員や民生委員にご連絡ください。
郵便物がたまっている、雨戸が閉まったまま、などご注意ください。

子どもたちの見守りもよろしく!

登下校時の交通安全や巡回パトロール等、子どもたちの安全・安心を守り、よりよいまちづくりにご協力をお願いします。

相沢地区社会福祉協議会
「見守りによる地域づくり」推進委員会

—「こんにちはチーム」による見守り—

- ・「こんにちはチーム」(平成23年7月結成、現在14団体・約250名)により声かけ・見守り運動を同時に取り組んでいます。年1回区内の活動団体情報交換会と「こんにちはチーム」の情報交換会を同時開催します。その内容は、広報「こんにちはチームだより」(第1号～第3号発行)として発行し、メンバーに配布しました。



見守り推進のパネル

—健康保健講座の開催—

保健活動推進員の主催により、「健康保健講座」を開催。

- ・27年度：「一人になっても楽しく暮らす工夫」(参加者：38名)
「認知症の見分け方」(参加者：42名)
「高齢者の『いきがい』UP講座」(参加者：40名)
- ・28年度：「AED取扱い講習会」(参加者：62名)
～熱中症と脱水症対策～



健康保健講座



—生活支援「相沢助け合いの会」の開設—

地区内の高齢者の生活支援活動の一環として、平成26年末に

「相沢助け合いの会」と名称が定まり、今後、正式に開設する予定です。

<新たに取り組まれている活動・事業>

—障害のある方たちとの交流の場をつくる—

7月に開催された「相沢ふれあいのつどい」において、車椅子体験と施設の作業体験のコーナーを設け、交流を図りました。

車椅子体験



施設の作業体験





【お問い合わせ】

横浜市瀬谷区福祉保健センター福祉保健課運営企画係

TEL 045-367-5702 FAX 045-365-5718

社会福祉法人横浜市瀬谷区社会福祉協議会

TEL 045-361-2117 FAX 045-361-2328

瀬谷区地域福祉保健計画ホームページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/seya/torikumi/fukushi/keikaku3.html>